

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月1日

上場取引所 東大

上場会社名 アマノ株式会社

コード番号 6436 URL <http://www.amano.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 泉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画本部長 (氏名) 上野 亨

TEL 045-439-1591

四半期報告書提出予定日 平成24年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	20,706	3.7	872	26.6	1,034	24.2	419	22.1
24年3月期第1四半期	19,976	9.4	689	837.2	832	281.3	343	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,357百万円 (18.6%) 24年3月期第1四半期 1,144百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	5.47	—
24年3月期第1四半期	4.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	105,051	72,542	68.9	944.33
24年3月期	103,477	72,191	69.6	940.07

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 72,331百万円 24年3月期 72,005百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,000	7.9	3,100	24.9	3,200	18.7	1,500	12.3	19.58
通期	93,500	6.1	7,000	18.3	7,400	17.1	3,800	57.4	49.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。
詳細は、添付資料P. 6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	81,257,829 株	24年3月期	81,257,829 株
25年3月期1Q	4,661,984 株	24年3月期	4,661,851 株
25年3月期1Q	76,595,915 株	24年3月期1Q	76,596,628 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は【添付資料】5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報等	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14
(7) 重要な後発事象	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により緩やかな回復過程にあるものと見られますが、欧州経済の低迷や中国の景気減速等による世界経済の成長鈍化懸念や長引く円高の影響等、依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境下にあつて、当社グループは、新中期経営計画に基づくグローバルベースでの連結成長戦略のもと、市場・プロダクトのグローバル展開、総合提案ビジネスの拡大に取り組むとともに、徹底的な顧客ニーズの掘り起こしに注力するとともに、原価低減、販管費抑制にも努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は207億6百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益8億72百万円（同26.6%増）、経常利益10億34百万円（同24.2%増）、四半期純利益4億19百万円（同22.1%増）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

部門別販売の状況

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期 平成24年3月期 第1四半期		当四半期 平成25年3月期 第1四半期		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
(時間情報システム事業)		%		%		%
情報システム	4,210	21.1	4,271	20.6	61	1.5
時間管理機器	1,086	5.4	982	4.8	△103	△9.6
パーキングシステム	9,840	49.3	9,758	47.1	△81	△0.8
小 計	15,137	75.8	15,013	72.5	△123	△0.8
(環境関連システム事業)						
環境システム	3,055	15.3	3,897	18.8	842	27.6
クリーンシステム	1,784	8.9	1,795	8.7	10	0.6
小 計	4,839	24.2	5,692	27.5	853	17.6
合 計	19,976	100.0	20,706	100.0	729	3.7

時間情報システム事業

- ・ 情報システム = 「就業・給与・人事・入室・食堂システム」
- ・ 時間管理機器 = 「タイムレコーダー、タイムスタンプ」
- ・ パーキングシステム = 「駐車場・駐輪場管理システム、駐車場運営受託」

当事業の売上高は、150億13百万円で、前年同期比1億23百万円の減収（0.8%減）となりました。

事業部門別には、情報システムは、国内はソフトウェアの売上が減少したものの、メンテ・サプライが堅調に推移し増収となりました。海外は、北米は現地通貨ベースでは増収も為替換算レートの変動により減収、欧州は為替換算レートの変動を受けたものの増収を確保し、全体では1.5%の増収となりま

した。

時間管理機器は、国内は震災復興需要の反動もあり減収、海外は北米・欧州・アジアともに低調に推移し、全体では9.6%の減収となりました。

パーキングシステムは、国内は大型物件の減少により減収となりましたが、グループ会社アmanoマネジメントサービス株式会社による駐車場運営受託事業は、大規模商業施設の管理物件増加により増収となりました。海外は、北米は受注状況が回復基調に転じているものの減収、欧州は減収、アジアは増収となり、全体では0.8%の減収となりました。

環境関連システム事業

- ・環境システム = 「汎用集塵機、大型集塵装置、粉粒体空気輸送システム、高温有害ガス除去システム、脱臭システム、電解水生成装置」
- ・クリーンシステム = 「清掃機器、ドライケア清掃システム、清掃マネジメントサービス」

当事業の売上高は、56億92百万円で、前年同期比8億53百万円の増収（17.6%増）となりました。

事業部門別には、環境システムは、国内は汎用機、大型システムともに需要増加により増収。海外は、アジア地域の需要が堅調に推移し、全体では27.6%の増収となりました。

クリーンシステムは、国内は清掃機器は増収となったものの、清掃コスト削減の影響を受け、清掃受託サービスが減少したことにより減収。海外は北米が増収となり、全体では0.6%の微増となりました。

(参考情報)

【所在地別情報】

(単位：百万円)

	売上高				営業利益又は営業損失(△)			
	第1四半期累計期間		増減	増減率 (%)	第1四半期累計期間		増減	増減率 (%)
	平成24年 3月期	平成25年 3月期			平成24年 3月期	平成25年 3月期		
日本	15,016	15,792	775	5.2	1,263	1,354	91	7.2
アジア	1,558	1,664	106	6.8	165	172	6	3.9
北米	2,411	2,315	△95	△4.0	19	60	40	205.1
欧州	1,485	1,458	△26	△1.8	△42	△3	38	—
計	20,471	21,231	759	3.7	1,405	1,582	177	12.6
消去 又は全社	△495	△524	—	—	△716	△710	—	—
連結	19,976	20,706	729	3.7	689	872	183	26.6

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、韓国、中国

(2) 北米……………アメリカ、カナダ

(3) 欧州……………フランス、ベルギー、スペイン

【海外売上高】

(単位：百万円)

	海外売上高				連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)		
	第1四半期累計期間		増減	増減率 (%)	第1四半期累計期間		増減
	平成24年 3月期	平成25年 3月期			平成24年 3月期	平成25年 3月期	
アジア	1,518	1,664	145	9.6	7.6	8.0	0.4
北米	2,387	2,293	△93	△3.9	11.9	11.1	△0.9
欧州	1,483	1,450	△32	△2.2	7.4	7.0	△0.4
その他の 地域	72	33	△38	△53.5	0.4	0.2	△0.2
計	5,461	5,442	△18	△0.3	27.3	26.3	△1.1
連結売上高	19,976	20,706					

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、韓国、中国

(2) 北米……………アメリカ、カナダ

(3) 欧州……………フランス、ベルギー、スペイン

(4) その他の地域……中南米

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,050億51百万円と前連結会計年度末に比べ15億73百万円増加いたしました。これは、主に、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金、原材料及び貯蔵品等の増加により流動資産が6億30百万円増加し、また、固定資産がリース資産の増加等により9億42百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、325億8百万円と前連結会計年度末に比べ12億22百万円増加いたしました。これは、主に、未払法人税等が減少したものの、未払費用等のその他流動負債の増加により流動負債が5億4百万円増加し、また、固定負債がリース債務の増加等により7億17百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、725億42百万円と前連結会計年度末に比べ3億50百万円増加いたしました。これは、主に、利益剰余金が配当金の支払等により5億76百万円減少いたしました。その他の包括利益累計額が為替換算調整勘定の増加等により9億2百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、275億52百万円と前連結会計年度末に比べ16億30百万円増加いたしました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、40億93百万円となりました。これは主に、法人税等の支払額18億15百万円が計上されたものの、売上債権の減少31億60百万円、税金等調整前四半期純利益10億17百万円、減価償却費9億37百万円等が計上されたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、△11億85百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入7億8百万円が計上されたものの、定期預金の預入による支出12億45百万円、有形固定資産の取得による支出2億11百万円、無形固定資産の取得による支出3億98百万円等が計上されたことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、△14億84百万円となりました。これは主に、配当金の支払額9億95百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出3億10百万円、短期借入金の返済による支出1億59百万円等が計上されたことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では、平成24年5月9日に公表いたしました平成25年3月期業績予想に変更ありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合は、適時に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純損益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,056	30,135
受取手形及び売掛金	23,754	21,000
有価証券	1,074	1,260
商品及び製品	3,058	2,846
仕掛品	707	963
原材料及び貯蔵品	2,424	3,012
繰延税金資産	1,446	1,465
その他	1,871	2,348
貸倒引当金	△128	△136
流動資産合計	62,266	62,896
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,742	10,673
機械装置及び運搬具(純額)	795	889
工具、器具及び備品(純額)	1,095	1,087
土地	7,121	7,136
リース資産(純額)	2,516	3,237
建設仮勘定	103	123
有形固定資産合計	22,375	23,147
無形固定資産		
のれん	4,677	4,904
ソフトウェア	1,840	1,632
ソフトウェア仮勘定	346	595
その他	1,025	1,044
無形固定資産合計	7,889	8,177
投資その他の資産		
投資有価証券	4,274	4,123
長期貸付金	16	16
破産更生債権等	482	547
差入保証金	1,069	1,084
繰延税金資産	1,853	1,951
長期預金	1,550	1,500
その他	2,155	2,076
貸倒引当金	△456	△471
投資その他の資産合計	10,945	10,828
固定資産合計	41,211	42,154
資産合計	103,477	105,051

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,386	10,385
短期借入金	168	178
リース債務	864	1,034
未払法人税等	2,147	929
賞与引当金	1,882	945
その他	8,187	10,667
流動負債合計	23,636	24,141
固定負債		
長期借入金	1,290	1,200
長期未払金	223	227
リース債務	2,552	3,378
繰延税金負債	302	366
退職給付引当金	2,984	2,923
資産除去債務	16	16
その他	279	253
固定負債合計	7,649	8,366
負債合計	31,285	32,508
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,239	18,239
資本剰余金	19,567	19,567
利益剰余金	47,391	46,814
自己株式	△3,719	△3,719
株主資本合計	81,478	80,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△179	△304
為替換算調整勘定	△9,294	△8,266
その他の包括利益累計額合計	△9,473	△8,570
少数株主持分	186	211
純資産合計	72,191	72,542
負債純資産合計	103,477	105,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	19,976	20,706
売上原価	11,298	11,642
売上総利益	8,678	9,063
販売費及び一般管理費		
販売費	7,212	7,410
一般管理費	776	779
販売費及び一般管理費合計	7,988	8,190
営業利益	689	872
営業外収益		
受取利息	12	11
受取配当金	38	30
為替差益	37	49
持分法による投資利益	11	5
その他	71	82
営業外収益合計	171	180
営業外費用		
支払利息	8	9
外国源泉税	13	0
その他	7	9
営業外費用合計	29	18
経常利益	832	1,034
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	0	9
固定資産売却損	0	—
投資有価証券評価損	—	4
特別退職金	35	2
その他	2	0
特別損失合計	38	17
税金等調整前四半期純利益	794	1,017
法人税等	443	580
少数株主損益調整前四半期純利益	350	437
少数株主利益	7	18
四半期純利益	343	419

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	350	437
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	△125
為替換算調整勘定	821	1,028
持分法適用会社に対する持分相当額	3	17
その他の包括利益合計	793	919
四半期包括利益	1,144	1,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,129	1,321
少数株主に係る四半期包括利益	15	35

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	794	1,017
減価償却費	979	937
のれん償却額	173	141
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△161	△72
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7	2
受取利息及び受取配当金	△51	△42
持分法による投資損益(△は益)	△11	△5
支払利息	8	9
為替差損益(△は益)	9	3
固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
固定資産除却損	0	9
投資有価証券評価損益(△は益)	—	4
特別退職金	35	2
売上債権の増減額(△は増加)	2,245	3,160
たな卸資産の増減額(△は増加)	△593	△457
仕入債務の増減額(△は減少)	3	△126
その他の流動負債の増減額(△は減少)	835	1,737
その他	△944	△393
小計	3,330	5,927
利息及び配当金の受取額	46	39
利息の支払額	△4	△13
特別退職金の支払額	—	△48
法人税等の支払額	△1,676	△1,815
法人税等の還付額	4	3
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,699	4,093
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△238	△211
有形固定資産の売却による収入	0	2
無形固定資産の取得による支出	△122	△398
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
貸付けによる支出	—	△63
貸付金の回収による収入	0	0
定期預金の預入による支出	△662	△1,245
定期預金の払戻による収入	838	708
その他	△76	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△261	△1,185

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△1,728	△159
長期借入れによる収入	1,481	—
長期借入金の返済による支出	△0	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△196	△310
配当金の支払額	△995	△995
少数株主への配当金の支払額	△8	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,448	△1,484
現金及び現金同等物に係る換算差額	110	206
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	100	1,630
現金及び現金同等物の期首残高	24,613	25,921
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,713	27,552

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	時間情報 システム事業	環境関連 システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,137	4,839	19,976	—	19,976
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,137	4,839	19,976	—	19,976
セグメント利益	1,083	291	1,375	△685	689

(注) 1 セグメント利益の調整額△685百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	時間情報 システム事業	環境関連 システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,013	5,692	20,706	—	20,706
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,013	5,692	20,706	—	20,706
セグメント利益	1,091	447	1,539	△666	872

(注) 1 セグメント利益の調整額△666百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。